

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	足関節後方インピンジメント症候群に対する後足部内視鏡手術の治療成績 [倫理審査受付番号：第 4949 号]
研究責任者氏名	橘俊哉
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2025 年 2 月 17 日 ~ 2026 年 12 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：足関節後方インピンジメント症候群/ 診療科名等：整形外科
	受診日：西暦 2017 年 4 月 1 日 ~ 2024 年 12 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他 ( )
	取得の方法： <input checked="" type="checkbox"/> 診療の過程で取得 <input type="checkbox"/> その他 ( )
研究目的・意義	<p>(目的) 足関節後方インピンジメント症候群(以下、PAIS)は、足関節底屈時に足関節後方に疼痛が生じる病態の総称です。特に底屈動作を繰り返すバレエダンサーやサッカー選手に多く発症すると言われていています。PAIS の原因としては長母趾屈筋腱鞘炎などの軟部組織性と三角骨などの骨性インピンジメントの二つに大別されます。また PAIS の治療は、従来から行われている傷を大きくあける直視下手術とアキレス腱内外側に 2 箇所小さな傷で行う後足部内視鏡手術が挙げられます。後足部内視鏡手術は侵襲が小さく、合併症が少なく早期競技復帰が可能などの利点からアスリートに対する PAIS に対する治療として広く普及しております。しかし、過去の文献では治療成績は様々です。そこで本研究の目的は、足関節後方インピンジメント症候群に対する後足部内視鏡手術の治療成績向上のために、診療で得られた臨床情報・データを後ろ向きに検討することです。</p> <p>(意義) PAIS に対する後足部内視鏡手術の治療成績は競技特性によって異なると報告されていますが、その他の治療成績を左右する因子についてはまだ</p>

	<p>まだ不明です。本研究において、画像データ・臨床データを解析することで治療成績を左右する因子を特定できれば、治療成績向上につながると考えられます。</p>
<p>研究の方法</p>	<p>研究対象者は、2017年4月1日から2023年12月31日までに足関節後方インピンジメント症候群と診断され、兵庫医科大学病院整形外科にて後足部内視鏡手術を受けた患者のうち、術後経過観察期間が1年以上であったものとします。整形外科の診療において得られた診療録や単純X線やMRIなどの画像データより、手術時の年齢、性別、身長、体重、MRI、競技、tegner activity scale、骨性病変の大きさ、VAS scale、AOFAS score、手術からの競技復帰までの期間、合併症（神経血管損傷、皮膚障害など）、術後経過観察期間などのデータを収集し解析します。</p> <p>解析したデータをもとに、本術式の有用性や治療性成績を左右する因子を検討します。</p>
<p>個人情報の取扱い</p>	<p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
<p>本研究に関する連絡先</p>	<p>診療科名等：整形外科  担当者氏名：森本 将太  [電話]（平日 8:30～16:45）0798 - 45 - 6452  （上記時間以外） 0798 - 45 - 6452</p>